平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月5日

上場会社名　日本開閉器工業株式会社　　上場取引所　大
コード番号　6943　URL　http://www.nikkai.co.jp
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 大橋　智成
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役　(氏名) 市川　忠夫　TEL 044-813-8026

四半期報告書提出予定日　平成25年2月14日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	5,283	△2.2	436	14.3	457	26.8	332	9.5
24年3月期第3四半期	5,405	△5.1	382	△36.5	360	△33.9	303	△38.8

(注)包括利益　25年3月期第3四半期　383百万円　(72.2%)　24年3月期第3四半期　222百万円　(△38.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	40.33	―
24年3月期第3四半期	36.81	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第3四半期	12,584	9,964	79.2	1,209.87
24年3月期	11,757	9,664	82.2	1,173.15

(参考) 自己資本　25年3月期第3四半期　9,964百万円　24年3月期　9,664百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	―	5.00	―	5.00	10.00
25年3月期	―	5.00	―		
25年3月期(予想)				5.00	10.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成25年 3月期の連結業績予想(平成24年 4月 1日～平成25年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,700	7.9	530	11.9	570	20.5	350	△16.2	42.48

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 有
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期3Q	8,425,200 株	24年3月期	8,425,200 株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	189,009 株	24年3月期	187,511 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期3Q	8,236,936 株	24年3月期3Q	8,238,729 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続きが実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載しております業務見通し等の将来に関する記述につきましては、当社グループが本資料の発表日現在にて入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提条件に基づいて作成しております。実際の業績等は、今後の経済情勢や市場動向等に関わるリスク不確定要因により変動する可能性があります。また、業績予想の背景や前提条件等の詳細につきましては、「添付資料」の2ページ「連結経営成績に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 2
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 3
（１）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書
第３四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書
第３四半期連結累計期間 …… 7
（３）継続企業の前提に関する注記 …… 8
（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 8

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第３四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、欧州諸国の財政問題や長引く円高、原油・貴金属の高騰、中国市場の景気の鈍化、近隣諸国との関係悪化など、リーマン・ショック直後を除けば近年で最も低調に推移しました。景気の先行きは依然として不透明な状況ですが、12月の政権交代前後からは、株価の回復、為替の円安シフト等、景気回復への期待が高まりつつあります。

当社の属する産業用スイッチ（操作用スイッチ）市場におきましては、平成23年度に東日本大震災後の生産在庫確保により一時的に出荷の増加局面を迎えたものの、サプライチェーンの早期回復による市場の安心感と過剰在庫状態の解消から年末にかけて出荷が減少し、その後も足踏み状態が続いております。

こうした中、当社グループは、３ヵ年の中期経営計画「Quantum Leap Breakthrough」の基で、「世界一の産業用スイッチメーカー」となるべく「北米市場シェアアップ」を中計ビジョンに掲げ、グローバルディストリビューターからの拡販強化を中心に邁進してまいりました。また世界の工場から世界のマーケットへ変貌する中国市場をターゲットに平成24年1月に設立した販売子会社「恩楷楷（上海）開関有限公司」が平成24年度から本格的な中国市場における販売活動に入りました。企業環境は厳しい状況が継続しておりますが、当社は「競争力強化」と「体質強化」に尽力していくことを基本姿勢とし、メーカーとしての役割である「ものづくり」をNKKグループ一丸となって推進してまいりました。

以上のことから、当第３四半期連結累計期間の売上高は52億８千３百万円（前年同期比2.2%減）、営業利益は４億３千６百万円（前年同期比14.3%増）、経常利益は４億５千７百万円（前年同期比26.8%増）、四半期純利益は３億３千２百万円（前年同期比9.5%増）となりました。

なお、セグメントの概況は次の通りであります。

① 日本

日本国内の景況は最悪ではないものの厳しい環境が継続しており、販売強化項目を中心に足で稼ぐ営業を積極的に展開して取り組みましたが、当第３四半期連結累計期間の売上高は42億６千５百万円（前年同期比6.9%減）となりました。今後も販売強化項目を中心に販売活動計画に基づいて「引き合いを確実に受注に結びつける質の高い営業へのシフト」を実践していくことで、受注までの販売プロセスを戦略的に推進しています。

② 米国

中期経営計画「Quantum Leap Breakthrough」のビジョンである「北米市場シェアアップ」について販売強化項目を中心に積極的な販売活動に取り組んだ結果、グローバルディストリビューターからの販売が当第３四半期累計ベースで過去最高となるなど現地通貨ベースでは前年同期比15.8%増となり、当第３四半期連結累計期間の売上高は13億８千９百万円（前年同期比17.3%増）となりました。

③ アジア

中国市場は潤沢な公共投資に支えられ順調に成長してまいりましたが、昨年中国政府の金融引き締め策により公共投資も抑制され中国経済の減速感が高まりました。そのような環境下、当社は中国市場を日本、北米に続く第三の市場と位置づけ、平成24年１月に設立した「恩楷楷（上海）開関有限公司」も平成24年度から本格的な中国市場における販売活動に入りました。中国市場においてもNKKブランドの認知度は徐々に浸透しつつあり、現地通貨ベースでは前年同期比3.8%増と順調にプラス成長を続けており、当第３四半期連結累計期間の売上高は14億６千２百万円(前年同期比5.3%増)となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

① 資産

資産合計は125億８千４百万円（前連結会計年度末比８億２千６百万円の増加）となりました。

主な要因は、現金及び預金の増加（前連結会計年度末比２億５千３百万円の増加）、商品及び製品の増加（前連結会計年度末比２億３千７百万円の増加）、無形固定資産の増加（前連結会計年度末比３億４千５百万円の増加）によるものであります。

② 負債

負債合計は26億１千９百万円（前連結会計年度末比５億２千５百万円の増加）となりました。

主な要因は、支払手形及び買掛金の増加（前連結会計年度末比４億３千３百万円の増加）、未払法人税等の増加（前連結会計年度末比５千６百万円の増加）によるものであります。

③ 純資産

純資産合計は99億６千４百万円（前連結会計年度末比３億円の増加）となりました。

主な要因は、四半期純利益の計上等による利益剰余金の増加（前連結会計年度末比２億４千９百万円の増加）、為替換算調整勘定の増加（前連結会計年度末比５千３百万円の増加）によるものであります。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

平成24年５月18日付にて公表した連結業績予想につきましては変更しておりません。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（減価償却方法の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第１四半期連結会計期間より、平成24年４月１日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる当第３四半期連結累計期間の損益への影響は軽微であります。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成24年12月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,715,625	5,969,179
受取手形及び売掛金	1,298,013	1,264,327
商品及び製品	621,848	858,984
仕掛品	56,820	8,971
原材料及び貯蔵品	1,031,719	1,186,563
繰延税金資産	211,129	126,627
その他	70,390	100,713
貸倒引当金	△2,337	△2,367
流動資産合計	9,003,211	9,512,998
固定資産		
有形固定資産	1,451,769	1,407,887
無形固定資産	259,416	605,373
投資その他の資産		
繰延税金資産	－	8,805
投資その他の資産	1,043,200	1,049,143
投資その他の資産合計	1,043,200	1,057,948
固定資産合計	2,754,386	3,071,210
資産合計	11,757,597	12,584,209
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	983,148	1,416,568
1年内返済予定の長期借入金	6,120	－
未払法人税等	11,631	68,161
引当金	132,626	64,961
その他	488,255	645,132
流動負債合計	1,621,781	2,194,823
固定負債		
長期借入金	19,399	－
繰延税金負債	41,202	13,818
役員退職慰労引当金	187,500	158,200
退職給付引当金	108,189	137,196
その他	115,450	115,450
固定負債合計	471,740	424,664
負債合計	2,093,521	2,619,488

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成24年12月31日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	951,799	951,799
資本剰余金	833,305	833,305
利益剰余金	8,378,504	8,628,287
自己株式	△157,360	△157,997
株主資本合計	10,006,248	10,255,393
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	43,649	41,999
為替換算調整勘定	△385,821	△332,671
その他の包括利益累計額合計	△342,172	△290,672
少数株主持分	－	－
純資産合計	9,664,076	9,964,721
負債純資産合計	11,757,597	12,584,209

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第３四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年12月31日）
売上高	5,405,241	5,283,782
売上原価	3,285,149	3,202,159
売上総利益	2,120,091	2,081,622
販売費及び一般管理費	1,737,936	1,644,961
営業利益	382,154	436,661
営業外収益		
受取配当金	18,774	16,706
為替差益	－	5,643
受取賃貸料	6,969	7,007
その他	12,763	7,662
営業外収益合計	38,506	37,020
営業外費用		
支払利息	1,462	1,070
売上割引	－	11,683
賃貸収入原価	3,799	3,490
為替差損	53,831	－
その他	940	338
営業外費用合計	60,034	16,582
経常利益	360,627	457,099
特別利益		
投資有価証券売却益	630	－
特別利益合計	630	－
特別損失		
固定資産除却損	－	449
投資有価証券評価損	39,491	－
特別損失合計	39,491	449
税金等調整前四半期純利益	321,766	456,649
法人税、住民税及び事業税	6,982	74,175
法人税等調整額	11,539	50,318
法人税等合計	18,522	124,493
少数株主損益調整前四半期純利益	303,244	332,156
少数株主利益	－	－
四半期純利益	303,244	332,156

（四半期連結包括利益計算書）
（第３四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年12月31日）
少数株主損益調整前四半期純利益	303,244	332,156
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△23,340	△1,650
為替換算調整勘定	△57,107	53,149
その他の包括利益合計	△80,447	51,499
四半期包括利益	222,796	383,655
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	222,796	383,655
少数株主に係る四半期包括利益	－	－

（３）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。